

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和元年6月】

■調査概要（データ対象期間：令和元年6月1日～6月30日）

○調査期間：令和元年6月26日～7月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業23企業、製造業22企業、卸売業13企業、小売業29企業

飲食業17企業、サービス業47企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計151企業>

○調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラスからマイナスに 水準DIはマイナス幅が拡大

1. 業況判断

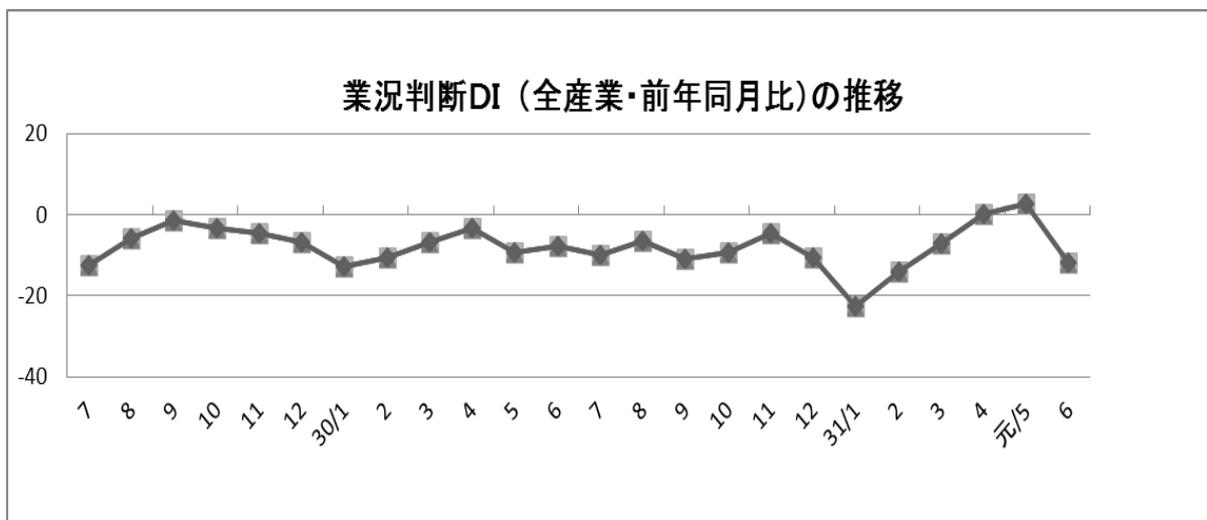
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（2.7）よりマイナス幅が14.6ポイント拡大し、▲11.9となった。業種別では、サービス業はプラス幅が縮小し、建設業はマイナスから0に、製造業はプラスからマイナスに転じた。卸売業、飲食業は0からマイナスに、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲10.0）よりマイナス幅が5.3ポイント拡大し、▲15.3となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、卸売業は横ばいとなった。、飲食業は0からマイナスとなり、製造業はマイナス幅が縮小した。建設業は横ばいに、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.6 (20.0)	58.9 (62.7)	26.5 (17.3)	▲ 11.9 (2.7) ↓	13.2 (17.3)	58.3 (55.4)	28.5 (27.3)	▲ 15.3 (▲ 10.0) ↓
建設業	13.0 (8.7)	74.0 (78.3)	13.0 (13.0)	0.0 (▲ 4.3) ↗	4.3 (8.7)	74.0 (65.2)	21.7 (26.1)	▲ 17.4 (▲ 17.4) →
製造業	22.7 (19.0)	40.9 (66.7)	36.4 (14.3)	▲ 13.7 (4.7) ↓	18.2 (19.0)	54.5 (38.1)	27.3 (42.9)	▲ 9.1 (▲ 23.9) ↗
卸売業	23.1 (16.7)	46.1 (66.6)	30.8 (16.7)	▲ 7.7 (0.0) ↓	30.8 (25.0)	38.4 (50.0)	30.8 (25.0)	0.0 (0.0) →
小売業	10.3 (21.4)	55.2 (53.6)	34.5 (25.0)	▲ 24.2 (▲ 3.6) ↓	13.8 (10.7)	37.9 (53.6)	48.3 (35.7)	▲ 34.5 (▲ 25.0) ↓
飲食業	0.0 (16.7)	52.9 (66.6)	47.1 (16.7)	▲ 47.1 (0.0) ↓	0.0 (22.2)	47.1 (55.6)	52.9 (22.2)	▲ 52.9 (0.0) ↓
サービス業	17.0 (27.1)	68.1 (56.2)	14.9 (16.7)	2.1 (10.4) ↓	14.9 (20.8)	74.5 (60.4)	10.6 (18.8)	4.3 (2.0) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

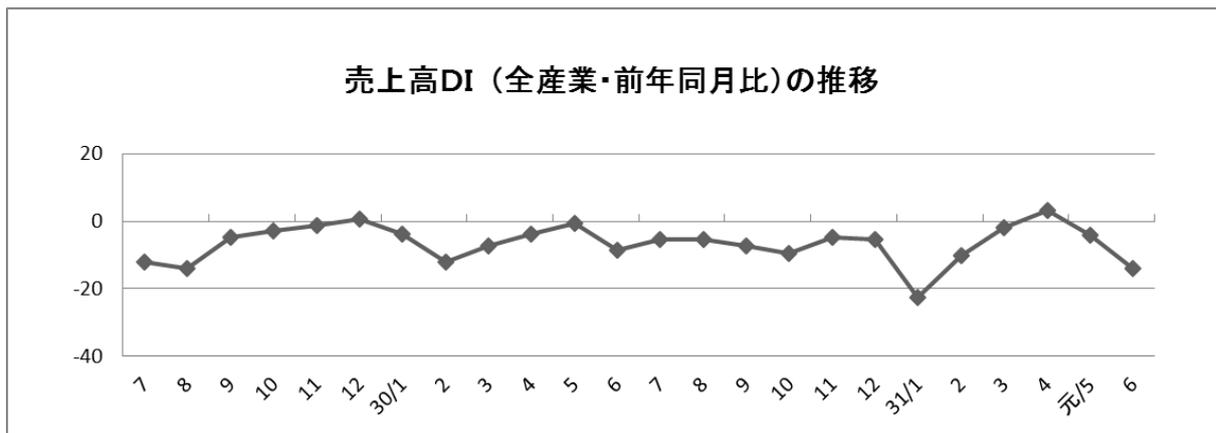


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲4.0）からマイナス幅が9.9ポイント拡大し▲13.9となった。業種別に見るとサービス業はプラス幅が縮小し、飲食業は0からマイナスになった。建設業、卸売業はマイナス幅が縮小し、製造業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
全 体	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 7.2	▲ 9.6	▲ 4.7	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 22.5	▲ 10.0	▲ 1.9	3.3	▲ 4.0	▲ 13.9
建設業	▲ 8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	8.4	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 13.1
製造業	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8
卸売業	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4
小売業	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7
飲食業	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1
サービス業	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4

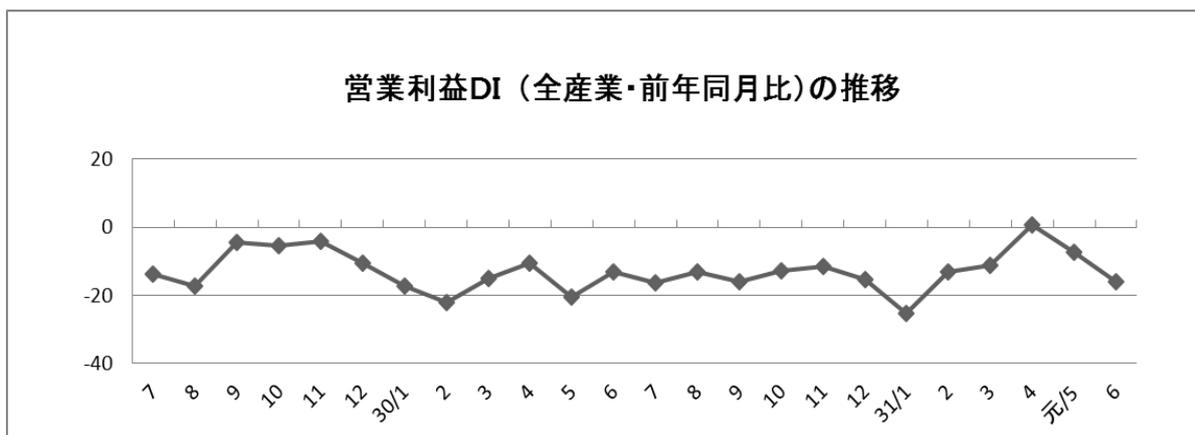


3. 営業利益D I（前年同月比）

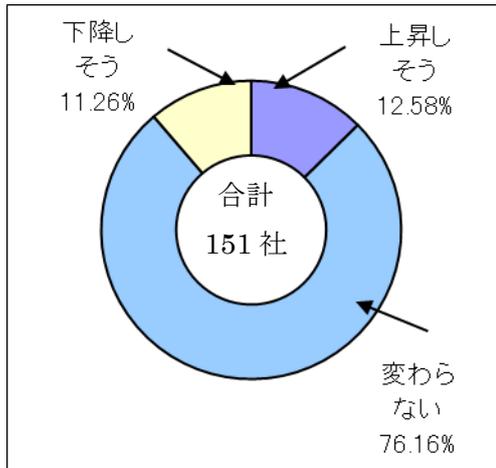
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲7.4）よりマイナス幅が8.5ポイント拡大して、▲15.9となった。業種別に見ると、サービス業はマイナスからプラスに転じ、卸売業はプラスからマイナスに転じた。製造業はマイナス幅が縮小し、建設業、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
全 体	▲ 13.3	▲ 16.5	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 12.7	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 25.2	▲ 13.3	▲ 11.2	0.7	▲ 7.4	▲ 15.9
建設業	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7	▲ 12.0	▲ 13.1	▲ 4.7	0.0	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 13.1	▲ 17.4
製造業	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2
卸売業	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4
小売業	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6
飲食業	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1
サービス業	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3

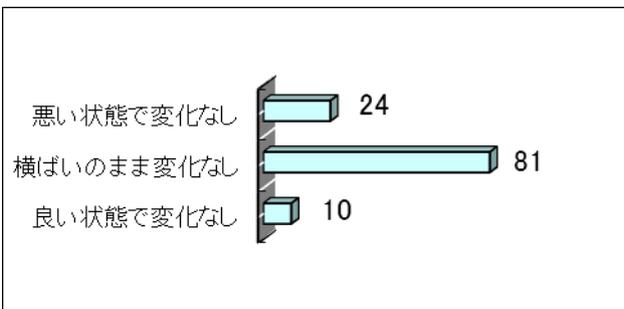


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和元年7月～9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.25ポイント増加し12.58%、「下降しそう」が1.93ポイント増加し11.26%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.3)、製造業(0.0)、卸売業(7.7)、小売業(▲17.3)、飲食業(11.7)、サービス業(6.4)であった。

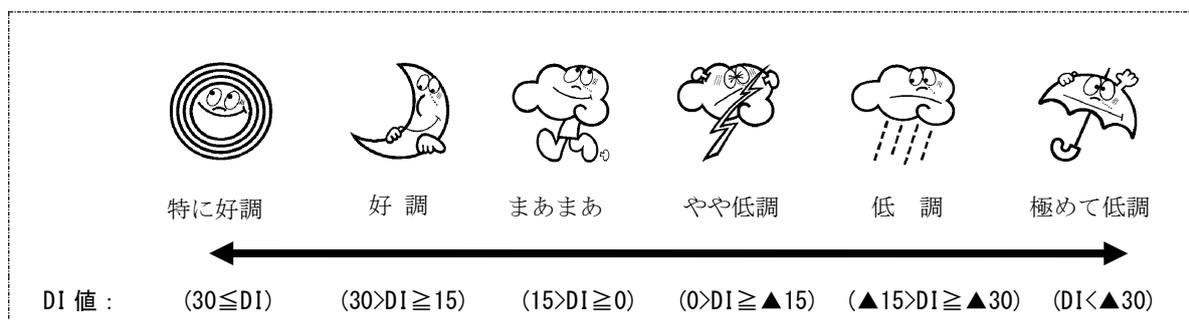
➡「上昇しそう」では「公共工事の発注が始まったため」「受注及び公共工事が入ってきているため」(建設業)「受注見込みがあるため」「受注量が増える見込みのため」(製造業)「取引商品の拡大のため」(卸売業)「夏休み、お盆、行楽シーズンによる県外客等の増加が見込めるため」(小売業)「例年6月は良くない。7,8月に期待するため」「暑気払いシーズン到来のため」「夏休み、秋の連休があるため」(飲食業)「年内の仕掛中のプロジェクトについて回収の予定があるため」「観光シーズンのため」「新規契約を結べたため」「公共の仕事が出ているため」「消費税増税前の建築需要が活発になるため」「髪の毛の矯正の需要が高く、クセで悩むお客様が多いため」(サービス業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では「現状は好調だが、これから先は厳しそうのため」(建設業)「秋まで低調期のため」「用紙、材料費の価格上昇で、財務的に良い方へシフトしないため」(製造業)「個人需要の動きが悪くなってきているため」「個人消費に陰りが見え、消費税増税が更に心配なため」「節約志向が強まっているため」「暑くなると人の出が悪くなるため」(小売業)「老後の2千万円問題、参議院選挙、お盆の9連休等でサイフの紐が固くなるため」「消費税10%が決まり冷え込みそうのため」(飲食業)「物価が値上がるため」「売上減のため」「6月が予想以上に良かったため」「参議院選挙の影響のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
売上高	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1
受注量	0.0	13.1	9.1	12.0	▲8.7	9.5	13.7	▲10.0	▲12.0	▲16.7	▲8.7	▲8.7	0.0
受注単価	▲8.7	0.0	4.6	8.0	▲4.4	4.8	4.6	5.0	4.0	0.0	0.0	▲4.3	▲8.7
営業利益	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4
見通し	13.1	8.7	9.1	12.0	4.4	4.8	13.7	10.0	12.0	▲4.1	13.1	13.0	4.3

<経営者の目・見方・etc>

建設業

- ・公共工事の発注が増えてきたが受注競争が激しく、安定した受注が難しい。
- ・材料単価が高止まりしており、利益の確保が難しい。

建築工事

- ・この数ヶ月間の受注減少のため、売上は厳しい状況だが、少なからず民間と公共工事が決まったので上昇を期待している。

土木工事

- ・第一四半期が終わったが対前年度比業績が向上している実感はない。
- ・令和1年度の国の公共事業費配分は長野県が全国で2番目に多いと聞くが、果たしてその効果が現れるのはいつ頃からだろうか。
- ・日本人の15～34才の死因の第一位は自殺だそう。日本は世界で13位の自殺大国であるため若者の自殺率は世界のトップクラスである。若者をもっと大切にしないといけないと思う。

管工事

- ・売上は上がったが利益率が上がらない。受注単価に問題があるのかもしれない。今後見通しは良くならないのだろうか。

鉄工

- ・受注が少ない状態が続いている。ようやく来月下旬からの受注がちらほらありほっとしている。

鉄工

・急速に全体的な仕事量が減っている気がする。この先は消費税増税、東京オリンピックに向けての現場施工完了間近等の要因にボルトの手配難が重なって工事物件の発注が止まってきている感じである。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
売上高	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲16.6	▲19.1	▲36.0	▲10.0	10.0	4.4	▲4.8	▲22.8
受注量	▲4.5	4.6	13.0	▲4.0	8.7	▲22.2	▲23.8	▲40.0	▲5.0	0.0	8.7	▲14.3	▲9.1
受注単価	▲18.2	▲13.7	▲13.1	▲16.7	▲8.7	▲16.7	▲9.5	▲16.0	▲20.0	▲10.0	0.0	▲19.0	▲9.1
営業利益	▲18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲11.1	▲23.8	▲32.0	▲30.0	▲20.0	8.7	▲19.1	▲18.2
見通し	▲4.6	0.0	8.7	▲4.2	▲8.7	▲11.1	▲14.3	12.0	0.0	▲10.0	▲30.4	▲14.3	0.0

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・安曇野で1社廃業した。客単価が低めで仕事の規模、総額もそれ程大きくないので業界の末端まで仕事を分担させ合う空気が希薄であるのか、一部の売上高の大きい企業が丸抱えしてしまい、小さい企業から廃業してしまっている傾向が最近一段と顕著に見られる。

・印刷業界(頁物印刷)としては受注量の少ない時期のため動きは鈍いままである。

金属塗装

・米中貿易摩擦の影響がじわじわと大きくなっていて、受注が減ってきている。

小型情報機器組立

・開けてみれば、上がったり下がったり変化の波が多くて先が見えない。

製麺

・連休が終わったら全くだめである。

菓子

・通常、夏の時期に向けて需要が落ち込み売上が低迷する。今年も例年通りGW明けはまだ良かったが、6月に入ってから注文量が減少している。

3. 卸売業



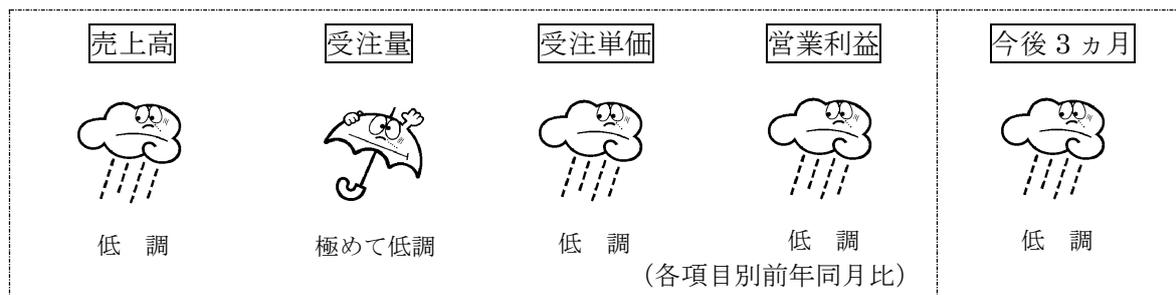
【項目別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
売上高	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4
販売客数	▲ 6.7	0.0	▲ 10.0	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7	▲ 15.4
販売客単価	▲ 6.7	▲ 9.1	10.0	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7
営業利益	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4
見通し	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	7.7

<経営者の目・見方・e t c >

- | | |
|------|--|
| 土産品 | ・夏休みの準備が始まり、取引先様からは順調に受注依頼が来ているが、市内の観光地はGW明け以降厳しい状況が続いている。 |
| 金属製品 | ・建築関連は、人の問題や副資材等の問題で予定より遅れて推移している状況であるが、首都圏を中心に案件はあり、依然好調である。 |
| 機械工具 | ・まだら状態にはなっているが、全体的には去年より良い状態を維持している。但し、いきなり止まる恐れはある。 |
| 自転車 | ・電動アシスト自転車が業界を牽引している。自動車運転免許証の返納もあり、電動アシスト自転車、高齢者向け自転車の販売と問合せが増加している。少子化で、今後通学自転車の需要が減少する中で新規開拓が必要である。
・8月と9月に、自動車タイヤの値上げが予定されている。
・消費税増税もあり駆け込み需要に期待する。 |

4. 小売業



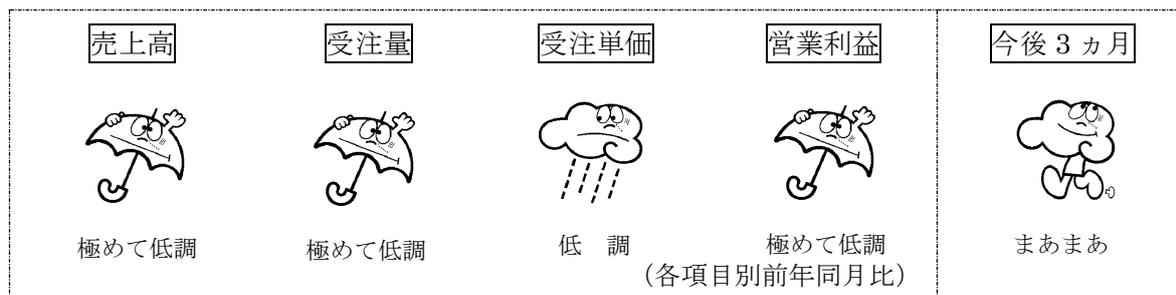
【項目別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
売上高	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7
販売客数	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 38.7	▲ 23.3	▲ 26.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 37.0	▲ 16.0	▲ 12.9	3.6	▲ 3.6	▲ 31.1
販売客単価	0.0	▲ 7.7	▲ 12.9	▲ 3.3	▲ 13.4	▲ 3.4	0.0	▲ 14.8	4.0	▲ 16.1	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 20.7
営業利益	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6
見通し	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 9.1	0.0	4.0	6.4	3.5	▲ 10.7	▲ 17.3

<経営者の目・見方・etc>

印章	<ul style="list-style-type: none"> ・個人需要が落ち込んできているが、人事異動関係の仕事が多くて全体としてはまあまあだった。 ・アジア系の団体旅行客が減って、欧州からの少人数旅行客が増えているように感じる。
印章・刃物研ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客も含め全ての面で動きが鈍くなってきている。
住宅機器	<ul style="list-style-type: none"> ・例年並みの仕事がやっと出て来た。
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は父の日が最も良く、客数単価共に良かった。 ・土、日曜日は車の渋滞で身動きが取れない状態である。
菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの国宝を持つ松本となり、7月中旬からの観光客に期待しており、中心市街地活性化、回遊性、滞在時間等は、市、会議所の商業ビジョンを参考にしていきたい。 ・廃業する店や、廃業を考えている店が増えている。
洋菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の売上は好調に上がっているが、得意先の注文が減った。 ・今後に向けて働き方改革に取り組んでいるが、良い成果が出始めているので当面不安は少ない。
おやき	<ul style="list-style-type: none"> ・連休の多かった5月に比べると落ち着いた動きであった。
ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にセールが6月に前倒しになり6月のウエイトが高まっている。但し夏のセールについてはメーカーの生産調整、ヒット商品の不在などからインパクトが弱まっている。今後はセールに依存しない集客が必要となる。
陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> ・10連休の反動による深刻な落ち込みも無かったが、消費税増税前の駆け込みも全く見られない。 ・空梅雨で気温も上がらず、昨年の災害級の猛暑のことを思うと街の人出にはプラスだが、農作物の生育への影響が心配である。
人形	<ul style="list-style-type: none"> ・廃業、転業の商店が目立ってきた。
婦人服	<ul style="list-style-type: none"> ・他店のセールが始まったが、ショップは7月からのスタートになり売上は伸びなかった。レギンスのコーディネートが目新しく好評であったが、仕入れが少なく売り逃しがあって残念であった。新しい事に挑戦する事も大切だと感じた。
薬局	<ul style="list-style-type: none"> ・客数が少ないうえ単価も低かった。年金だけでは2,000万円不足するとの発表が影響したとしか思えない程とても静かだった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
売上高	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1
販売客数	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 11.7	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7	11.1	5.5	▲ 47.1
販売客単価	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 36.8	▲ 5.9	▲ 27.8	▲ 16.6	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7	0.0	▲ 5.5	▲ 23.5
営業利益	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1
見通し	21.0	0.0	▲ 15.8	▲ 10.5	17.6	11.1	▲ 11.1	0.0	11.7	▲ 11.1	0.0	▲ 5.5	11.7

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------|---|
| 料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・人の動きが無く、ボーナス月にもかかわらず財布の紐は固かった。 ・10連休、クラフトフェアの反動が大きかった。地元客の足が遠い。参議院選挙もあり来月が不安である。 |
| 郷土料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・16日に終了した「花フェスタ」の長いイベントで人の流れが続き良かった。後半は反動のためか静かになり、「山開き」に期待したが意外に動きがない。 |
| 中華料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・6月の後半は宴会も無く街に人出もなく久し振りの「頭にくる程ヒマ」であった。何が原因なのか、当店だけなのか、商売が下手なのか、味がまずいのか、対応が良くないのか暇だと色々なことを考えてしまう。他店はどのようにしているのだろうか。7月に大いに期待する。 |
| 創作料理 | <ul style="list-style-type: none"> ・団体の予約はあるが、個人の予約は無くなった。 |
| 居酒屋 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワインサミットは、天候不順があり客の流れがいまひとつ弱い気がした。 |
| 寿司 | <ul style="list-style-type: none"> ・不安定な天候のせいもあってか観光客の方を含めて、お客様の出足が鈍いと感じた。 ・繁忙期と閑散期の差は年々大きくなっており、事前にその対策を立て対応する事が今後も重要となってくると感じる。 ・真夏の様な暑い日もあれば、肌寒い日もあり寒暖の差が大きく冷房、暖房を切り替えながら、体調を崩さない様心がけ万全の体調でお客様を迎えた。 ・営業は例年のごとく良くない月で、盛り上がりには欠けた。 |
| そば | <ul style="list-style-type: none"> ・大型連休が終わり平常に戻った。 ・梅雨時はいつも暇である。 |

6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月
売上高	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4
販売客数	6.4	1.9	▲ 8.4	▲ 4.2	▲ 7.0	0.0	▲ 9.5	17.0	2.1	4.4	4.3	0.0	4.3
販売客単価	4.3	5.8	4.2	4.2	7.0	4.0	0.0	▲ 2.1	6.2	6.7	▲ 4.4	2.1	2.1
営業利益	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3
見通し	14.8	0.0	6.2	4.2	▲ 7.0	▲ 4.0	▲ 2.3	10.6	16.7	8.9	4.3	8.4	6.4

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備、 板金塗装	・国の外交、消費税増税の問題等、国民の不安も次第に多くなってきている感じがする。これからは、景気の良さは薄れていくと思われ、先行きの不安ばかりが心を痛める。
機械設計 建築設計 ソフトウェア	・秋までは横バイ状態であるが、その先は分からず仕事量が減った所もある。 ・個人的なことになるが、体力、年齢的なことを考慮し仕事を少しずつ控えている。 ・年内、同業種についてはどこも人手不足の感じである。軽減税率対応とシステム投資の判断が重なった状況に思える。中小企業ではERP ¹ などの統合システムを稼働させるほど体力はなく、そのような一見スマートに見えるツールは経営層へのアピールにしかならないと思う。
宿泊	・全体的に人の動きの少ない時期である。特に月の後半は寂しい限りであるが、スタッフの休養等に当てシーズンに備えたい。
観光旅館	・中旬まではお天気に恵まれ順調な入り込みであったが、後半になり梅雨入りの発表があった途端に静かになってしまった。来て頂けるのは海外のお客様がほとんどで寂しい限りである。
温泉旅館	・前月に引き続き観光、ビジネス、スポーツ選手等宿泊が多い。さすが松本である。
ホテル	・いよいよ7月末に駅前に新規ホテルがオープンする。8～10月までの間はあまり影響がないが、11月からの閑散期が心配だ。宴会の先行予約は比較的好調である。
タクシー	・花フェスタの成功により観光客が増加したと思う。 ・シーズン入りした観光地は、寒かったり、大雨だったりで客足は延びず売上は悪かった。

¹ ERP…【enterprise resource planning】

財務や人事・顧客情報など企業の業務をサポートするシステム。統合業務ソフトともいう。大辞林 第三版の解説

<p>リラクゼーション 不動産代理・仲介 ペットサービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・可もなく不可もなくである。 ・両島土地区画整理の分譲地販売が活発になっている。 ・6月は来店数、売上共に前年を上回った。これから夏の繁忙期に向かって目標、目的を持って取り組んでいこうと考えている。
<p>獣医</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参院本会議で全会一致により改正動物愛護法が6月12日に可決成立した。犬や猫へのマイクロチップ装着が義務化になり、ブリーダーなどの繁殖業者には義務化、一般の飼い主には努力義務とすることになった。飼い主の飼育管理責任を明確にして、捨て犬、猫の防止、災害時等にも役立つようになり、また、動物の虐待罪を現行より厳罰化し、犬、猫の販売の禁止も現行生後49日以下から56日以下に変更された。
<p>測量・建設コン サルタント業 ネイル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業の仕事の発注が多く出ているが、その割には競争相手が多くなかなか受注できない。積算を間違えず、地道に応札するしかない。 ・6月はジェルネイル検定初級、中級、上級が開催され、受験生は真剣に受験していた。7月にはネイル検定1、2、3級が開催される。
<p>ホームクリーニング・ リネンサプライ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リネンサプライは顕著な売上を維持している。 ・ホームクリーニングはイベント等により売上を確保することができた。